



コミュニティ・スクールとしての取組・・・その魅力として、地域人材を活用した教育活動の充実があります。

本校では、今年も2年生が生活科学習の一環として、芋作りを行っています。その畝作りをサポートして下さったのは河野博子さん（前草薙校長のお姉さん）です。そのおかげで、立派な畑（体育館東側）が完成しました。

5月25日（水）には、宮日新聞に下記の記事が掲載されました。



高鍋町のジェイエイ・アグリシード(18日)自社で生産、販売しているキュウリ、ミニトマトとピーマンの苗計195本を、川南町・川南小(小島信二校長、386人)に贈った。写真。湯淺俊一専務らが同校を訪れ「野菜を栽培する楽しさ、収穫の喜びを感じてください」と手渡した。受け取った6年・二杉蓮虎君(11)は「大切に育てます」と礼を述べた。同社は、同校を含む川南、高鍋町内の計7小学校、都農町の放課後等デイサービスに対し、20日までに計790本の野菜苗を贈った。

このいただいた野菜の苗ですが、早速、学校園に植えました。

この畑ですが、実は荒れ地で、野菜を植える状態ではありませんでした。それを、間野さん【5年1組敬浩（たかひろ）君の父親】が農業用トラクターで立派に整地してくれたのです。それも電話1本の依頼で応えていただいたフットワークの軽さに、とても有難い気持ちになりました。



これからも「人とつながる地域活動」

を川南小でさらに推進していけると最高です。それこそ**コミュニティ・スクールとしての川南小**の目指す姿がそこにあると思います。